

平成28年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	小学校施設営繕事業						担当部	教育委員会事務局							
	会計区分	一般会計		事業類型	施設整備系		担当課	教育総務課								
	事業期間	平成12年度以前		～	平成31年度以降		担当係	施設係								
	総合計画 新基本計画	施策等	3 教育・子育て		12 学校教育		1 安全で快適な教育環境を整備します									
			重点事業		実施計画事業	○										
	予算区分	款	10		項	2		目	1		大	4		中	1	
	根拠法令・個別計画															
	目的	何・誰を対象に	小学校施設及び児童や職員など使用者													
		どの様な状態にするのか	各小学校の学校運営が滞りなく行えるよう、適切に改修工事などを施工し、安全で快適な環境に整備する。													
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>前年度に学校ヒアリングを実施し、緊急性がある箇所から工事を行った。また、工事施工業者への連絡及び改修工事の工程管理などに関する事務を行った。</p> <p>○平成27年度においては、味岡小学校他非構造部材耐震改修工事、米野小学校南棟外壁改修工事などの改修工事や、味岡、篠岡、一色、小牧原、光ヶ丘小学校への防犯カメラ設置工事、小牧南・北里・大城小学校に校内インターホン設置工事を行った。また、全小学校の普通教室等へ空調機設置するための設計を行った。</p> <p>(直接経費の内訳) 小学校営繕工事費 514,198,368円 設計監理委託料等 49,500,680円</p> <p>国庫補助金 学校施設環境改善交付金 89,409,000円 特定防衛施設周辺整備調整交付金 4,900,000円 市債 校舎等耐震改修事業債 164,800,000円</p> <p>○平成28年度においては、本庄小学校他非構造部材耐震改修工事、小牧小学校他防犯カメラ設置工事、村中小学校他インターホン設置工事を行う。</p> <p>(直接経費の内訳) 小学校営繕工事費 1,297,900,000円(うち97,200,000円は、前年度からの繰越明許費) 設計監理委託料等 46,380,000円(うち 3,327,000円は、前年度からの繰越明許費)</p> <p>国庫補助金 学校施設環境改善交付金 175,552,000円 特定防衛施設周辺整備調整交付金 15,000,000円 市債 校舎大規模改造事業債 273,600,000円 校舎等耐震改修事業債 48,700,000円</p>														
受益者負担	無															

コスト	費用			単位	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28予算額
		直接経費		千円	213,586	400,476	563,700	1,344,280
費用	正職員	従事者数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	
		人件費	千円	2,750	2,750	2,750	2,750	
	その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	
		人件費	千円	0	0	0	0	
費用合計		千円	216,336	403,226	566,450	1,347,030		
対前年比		%		186.3	140.4	237.8		
財源	一般財源		千円	216,336	253,674	307,341	834,178	
	国・県支出金		千円	0	52,052	94,309	190,552	
	その他財源		千円	0	97,500	164,800	322,300	

業 績	活動指標名	単位		H25	H26	H27	H28	
	営繕工事	件	目標		21	21	22	22
			実績		23	27	29	
			目標					
			実績					
			目標					
			実績					
	成果指標名	単位		H25	H26	H27	H28	
	営繕工事实施校	校	目標		15	15	15	16
			実績		15	16	15	
		目標						
		実績						

事業の自己評価	平成27年度の実施結果	事業の達成状況	営繕工事については、計画していた工事を実施するとともに、緊急に発生した工事に対応することが出来た。				
		事業実施における課題	老朽化が進む校舎などにおいて学校から大規模なものから小規模なものまで多数の改修要望があがるが、多額の費用がかかるため、全ての要望に対応することができない。				
		基本施策の展開方向の目的に対する影響(貢献等)	営繕工事を実施することにより、安全で快適な学習環境の整備を進めることができ、児童が安心して学ぶことのできる環境を整えることができる。				
	平成28年度の改善内容	28年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	校舎などの雨漏りを防ぐため、環境整備委託業者や学校で可能な限り、屋根などの樋の清掃などを行う。また、多数の改修の要望があるが、工事の優先順位を決めながら対応していく。				
	平成29年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)			
	判定理由	施設の管理者である市が、問題である施設を改修する必要があるので、現状維持と判断した。					
	29年度以降の改善案	学校ヒアリング等を基に緊急性のあるものから優先順位をつけ、随時施工していく。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮小	平成28年度をもって、全小学校の普通教室と一部の特別教室へのエアコン設置が完了するため、縮小とする。 また、ファシリティマネジメントの視点から、計画的に営繕工事を実施し、建物の長寿命化を図ること。